

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 のびっこらんどキララ

職員数 4 名

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|---|----|------------------------|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 4 | | 活動上狭い場合はエリアを分けています。 | ・左記方法の継続 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 4 | | 事故防止のためこどもの把握がしやすいよう過ごす場所を指定したり、職員の配置に気を配っています。 | 基準は満たしていますが、質の向上と事故のリスクを考えると、もう一名スタッフが欲しいと思います。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 4 | | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 4 | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | | 事業所の掲示板にも掲示しています。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 4 | | 第三者による評価は受けていないが、ISO監査、保護者の評価を受けています。 | ・左記方法の継続 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 4 | | コロナ感染対策のため機会が減っています。 | 徐々に研修に参加できるよう配慮していきたいと考えています。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 4 | | 標準化したアセスメントツールを利用しています。 | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | | | 立案し、その都度反省。チームで共有しています。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | | 個々にあった対応を考え、ある程度繰り返し活動で、根気よく提供しています。 | 積み重ねにならない児には、繰り返しの提供も必要と考えます。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 4 | | | 長時間の対応は、課題が多いと思います。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 4 | | 役割分担の確認と、本日の日程の確認を共有しています。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 4 | | | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | | | |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | | | | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 4 | | | | |
| 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 4 | | | | |
| 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 4 | | | | |
| 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | 4 | 母が同伴している為、そこまではしていません。 | 現在利用している児がいるが、母同伴で利用してもらっており、食事の提供もない為、特に主治医との連携は取っていない。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 4 | | 積極的に担当者会議の依頼など行い、情報共有の場を作ってもらっています。 | 左記の継続と、保護者や学校から希望があればその都度対応します。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 4 | | 情報を提供しています。 | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | 4 | | 児童発達支援センターがこの地域に存在しないので、行政や他施設と協力し、情報の共有をしていきたいと考えています。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 4 | | 利用時間や、立地の関係で児童クラブとの交流は難しい状況です。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 4 | | ・スタッフ数不足のため参加回数は限られるが可能な限り参加しています。 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 4 | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 4 | | 未就学児の保護者を対象に、心理士や、言語聴覚士の講義を行いました。 | 保護者の関心や、心配に即した内容で今後も企画したいと考えています。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 4 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 4 | | | |
| 保護者への説明責任 | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 3 | 1 | コロナ禍でなかなか交流がむずかしく出来ませんでした。 | コロナが落ち着いたら、幅広く参加できるよう、日程や参加を募るなど、検討していきたいとおもいます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 4 | | | 苦情があれば丁寧に対応していきたいと思います。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | 4 | 会報は発行していませんが、行事・連絡などある場合は案内の作成、及び直接口頭にて伝えていきます。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 4 | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 4 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 3 | 今年度もコロナ感染対策のため中止しました。 | ・開催方法を検討し、感染防止対策を徹底することで企画したいと考えています。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 4 | | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 4 | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 4 | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 4 | | 指示書はもらっていないが、必ず母親の確認をとっておやつ等の提供を行っています。 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 4 | | 定期的に話し合っており、共有しています。 | 左記の通り継続し、改善策を検討していきます。 |